

矢作川流域圏年表案(山を対象としたイメージ)(1/2)

項目	()は和暦	1950 (S25)	1955 (S30)	1960 (S35)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)
<社会>	人口(岡崎市)		・14万人	・17万人	・19万人	・21万人	・23万人	・26万人	・28万人	・30万人	・32万人
	高齢化率(65歳以上:岡崎市)						・6.7%	・7.5%	・8.1%	・9.1%	・10.7%
	人口(根羽村)		・3282人	・3059人	・2560人	・2121人	・1938人	・1773人	・1722人	・1599人	・1522人
	高齢化率(65歳以上:根羽村)										
	第1次産業人口(愛知県)	・35.7%	・26.5%	・18.8%	・13.6%	・10.1%	・6.8%	・5.4%	・4.7%	・3.7%	・3.3%
	耕作地面積										
	人工林の面積(愛知県)										
	人工林率(愛知県)										
	国内の公害		・水俣病(1956年)				・光化学スモッグ発生増加(1970年～)				
		・イタイイタイ病(～1970年代前半)		・本州製紙の工場排水(1958年)		・第二水俣病(1965年)					
				・四日市喘息(1960年～1972年)							
矢作川における公害				・ヘドロや工場排水のたれ流し、上流山間部の乱開発による大量の土砂の流出(1960年～)							
ダム事業				・羽布ダム(農業)完成(1963年)	・矢作ダム工事着手(1965年)	・矢作ダム竣工(1970年)	・矢作第二ダム(発電)完成(1971年)				
		・明治用水新頭首工完成(1958年)			・明治用水と枝下用水分離(1968年)				・矢作川緊急河床低下対策施工(1986年)		
<行政>	法律		・森林法(旧(第2次)森林法(1907年)を全面改正して成立)(1951年6月)				・森林法改正(森林法及び森林組合併助成法の一部を改正)(1974年)				
					・森林・林業基本法(1964年7月)						
					・河川法制定(これまでの治水に利水の追加)(1964年)					・河川法改正(治水・利水に環境の追加)(1997年)	
											・環境影響評価法(1997年)
			・海岸法制定(1956年5月)								
					・公害対策基本法(1967年)	・水質汚濁防止法策定(1970年12月)					
								・第1次水質総量削減の策定(愛知県)			
										・多自然型川づくり通達(1990年11月)	
											・河川整備基本方針(1997年)
											・河川整備計画(1997年)
<自然災害>	全国における災害			・伊勢湾台風(1959年9月)							・阪神・淡路大震災(1995年1月)
						・47豪雨(1972年)					
	矢作川における災害			・台風と前線による水害(1961年)					・湯水(沖縄を除く全国)(1986年)		
						・台風7号による水害(1969年)					
					・台風25号による水害(1965年)		・台風23、25、26号及び秋雨前線による水害(1971年)				
						・集中豪雨により旧小原村、旧藤岡村を中心として大きな災害(1972年)					
<流域の動き>公的機関			・豊田市誕生(挙母市から市名変更)(1959年)				・豊田市立西広瀬小学校の水質調査開始(1976年)			・森林整備協定(根羽村と安城市)(1991年)	
							・公益財団法人 矢作川水源基金設立(1978年)			・豊田市矢作川研究所設立、豊田市水道水源保全基金設立(1994年)	
										・近自然工法いより古川水辺公園建設(1992年)	
										・岡崎市環境基本計画(1999年)	
			とよた森林学校設立(2008年 主催:豊田市、運営:豊田森林組合)								
	企業・市民団体等				・明治用水土地改良区矢作川沿岸水質保全対策協議会設立(1969年)			・矢作川環境技術研究会設立(1986年)			
						・矢作川流域開発研究会設立(1971年)		・矢作新聞創刊(1984年)			
								・第1回矢作川いかだ下り大会実施(1987年)			
	森林組合		・根羽村森林組合設立(1952年)				・飯伊森林組合設立(14森林組合合併)(1976年)		・飯伊森林組合合併(天龍村森林組合と合併)(1978年)		・飯伊森林組合合併(豊丘村森林組合と合併)(1995年)
										・飯伊森林組合合併(南信濃村森林組合と合併)(1999年)	
農業協同組合										・恵南森林組合設立(岩村町・山岡村・明智町・串原村・上矢作町森林組合が合併)(1999年)	
漁業協同組合		・矢作川漁業会を解散、矢作川漁業協同組合設立(1950年)									
<木材生産>	木材価格の動き(林野庁公表)										
	ヒノキ中丸太			・12,000円/m ³ (1960年)	・18,000円/m ³ (1965年)	・37,600円/m ³ (1970年)	・66,200円/m ³ (1975年)	・76,400円/m ³ (1980年)	・54,000円/m ³ (1985年)	・67,800円/m ³ (1990年)	・53,500円/m ³ (1995年)
	スギ中丸太			・11,300円/m ³ (1960年)	・14,300円/m ³ (1965年)	・18,800円/m ³ (1970年)	・31,700円/m ³ (1975年)	・39,600円/m ³ (1980年)	・25,500円/m ³ (1985年)	・26,600円/m ³ (1990年)	・21,700円/m ³ (1995年)
	スギ山元立木価格						・19,726円/m ³ (1975年)	・22,707円/m ³ (1980年)	・15,156円/m ³ (1985年)	・14,595円/m ³ (1990年)	・11,730円/m ³ (1995年)
	ヒノキ山元立木価格						・35,894円/m ³ (1975年)	・42,947円/m ³ (1980年)	・30,991円/m ³ (1985年)	・33,607円/m ³ (1990年)	・27,607円/m ³ (1995年)

矢作川流域圏年表案(山を対象としたイメージ)(2/2)

矢作川流域圏懇談会活動期間

項目	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	
＜社会＞	人口(岡崎市)	・34万人	・36万人	・38万人	・38万人	・39万人
	高齢化率(65歳以上;岡崎市)	・12.9%	・14.7%	・16.9%	・21.0%	
	人口(根羽村)	・1380人	・1253人	・1129人	・970人	・905人
	高齢化率(65歳以上;根羽村)				・49.3%	
	第1次産業人口(愛知県)	・3.0%	・2.9%	・2.3%	・2.2%	
	耕作地面積	・857百ha	・840百ha	・791百ha	・769百ha	
	人工林の面積(愛知県)	・14万ha(2000年)		・13万ha(2012年)	・13万ha(2017年)	
	人工林率(愛知県)	・64%		・64%(全国23位)	・64%(全国23位)	
	国内の公害					
	矢作川における公害 ダム事業					
	・矢作川豊田地区東海豪雨対策着手(2000年)			・矢作古川分派施設完成(2016年)		
＜行政＞	法律				・森林法改正(森林経営管理法を改正)(2018年)	
		・森林・林業基本法改正(2001年7月)		・森林計画制度の策定(2011年7月)	・森林経営管理法(2018年4月)	
				・水循環基本法(2014年)		
		・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画策定(2003年)			・三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画改正(2003年)	
					・水質汚濁防止法改正(2017年6月)	
				・三河湾里海再生プログラム(2011年3月)	・藻場・干潟ビジョン(2016年)	
					・第8次水質総量削減の策定(愛知県)	
				・河川法改正(2015年)	・河川法改正(2019年)	
			・多自然川づくり基本方針の策定(2006年)			
			・矢作川水系河川整備計画基本方針の策定(2006年4月)	・矢作川流域圏懇談会設立(2010年8月)		
		・矢作川水系河川整備計画の策定(2009年7月)				
＜自然災害＞	全国における災害		・東日本大震災(2011年3月)		・台風19号による東日本各地の浸水被害(2019年10月)	
	矢作川における災害	・東海豪雨/恵南豪雨(2000年9月) ・矢作ダム濁水(2001年)	・平成20年8月末豪雨(岡崎豪雨)(2008年)		・九州北部豪雨(2017年7月)	
＜流域の動き＞公的機関		・第1回矢作川「川会議」開催、矢作川宣言採択(2001年・平成の大合併(恵那市2014、豊田市2005、岡崎市200・上矢作ダム建設見送り(2008年)	・平成の大合併(西尾市2011)	・根羽村と安城市の親子留学制度開始(2015)		
		・「第1回矢作川の環境を考える懇談会」開催(2001年)	・豊田市100年の森づくり構想制定、豊田市森づくり条例施行(2007年)		・豊田市水環境共働ビジョンが流域水循環計画に認定(2017年)	
		・根羽村とアイシングループによる「森林の里親制度」締結(2004年～)	・岡崎市水を守り育てる条例(2008年)		・岡崎市水環境創造プランが流域水循環計画に認定(2017年)	
			・岡崎市水環境創造プラン(2008年)	・岡崎市緑の基本計画(2011)		
			・岡崎市水循環推進協議会(2008年)			
			とよた森林学校設立(2008年 主催:豊田市、運営:豊田森林組合)	・おいでん山村センター設立(2013年)～地域スモールビジネス研究会・移住・定住専門部会・次世代育成部会・食と農専門部会・森林部会～		
	企業・市民団体等	・根羽村「ネバーギブアップ宣言(2004年)	・矢作川水系森林ボランティア協議会設立(2004年～)		・木づがいライブ スギダカラキャラバン開始(根羽村森林組合)(2014)	
			・矢作川森の健康診断開始(2005年)	・木の駅プロジェクト開始(恵那市)(2008年)	・矢作川森の健康診断終了(2014年)	
			・森の健康診断開始(土岐川・庄内川源流)(2005年～)	・豊森なりわい塾開校(2009年～)	・矢作川地域主催森の健康診断開始(豊田あさひ2回、岡崎めかた1回、豊田はぎの1回)	
				・第1回木の駅サミット(2012年)	・額田木の駅プロジェクト(2015)	
			・矢作川流域圏懇談会設立(2010年～)			
				・西垣林業(株)豊田工場稼働(2018年)		
森林組合		・飯伊森林組合合併(飯田市森林組合と合併)(2006年)		・おいでん・さんそんセンター開所(2013年)		
		・豊田森林組合設立(豊田市・藤岡町・小原村・下山村・足助町・旭町・稲武町の組合が合併)(2005年)				
		・岡崎森林組合設立(額田町森林組合に岡崎市森林組合が吸収合併)(2008年)				
＜木材生産＞	木材価格の動き(林野庁公表)					
	ヒノキ中丸太	・40,300円/m ³ (2000年)	・25,500円/m ³ (2005年)	・21,600円/m ³ (2010年)	・17,600円/m ³ (2015年)	
	スギ中丸太	・17,200円/m ³ (2000年)	・12,400円/m ³ (2005年)	・11,800円/m ³ (2010年)	・12,700円/m ³ (2015年)	
	スギ山元立木価格	・7,794円/m ³ (2000年)	・3,628円/m ³ (2005年)	・2,654円/m ³ (2010年)	・2,833円/m ³ (2015年)	
	ヒノキ山元立木価格	・19,297円/m ³ (2000年)	・11,988円/m ³ (2005年)	・8,128円/m ³ (2010年)	・6,284円/m ³ (2015年)	